

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	調査報告表	必要と思われる研修について、受講されていないものが見受けられる。	より良い介護の実践を目指していく為に、各所などからの研修案内にとどまらず職員個人も必要且つ有益と思える研修を求めるように指導し、必要な研修について、管理者と職員に明確化をはかり施設内での研修計画をつくり、受講する職員を計画的に定めて配していく。	施設からの研修参加を勧めつつ、職員各自からも受講希望を申告してもらうことで、研修の充実を図っていき、受講が決定した者は、受講日を考慮してのシフト配置を行い、受講後、社内に於いて他の職員に対しての報告及び再研修を受講者が行い、その実施経過を記録に留めていく。	随時
2	35	非常時に於ける体制の強化	夜勤一人体制の為、避難訓練の強化と消防設備(自動火災報知設備・自動通報装置・スプリンクラー)の整備を行うとともに、地域の中での連携を深めながら地域と一緒に出来る緊急支援体制をつくる。	消防設備の3事業については、今年度中の整備完了に向けて稼働を始めている。避難訓練については、これまで2ヶ月に一回であったものを、今後は毎月一回行うようにし、月ごとに訓練内容・設定を変えて計画的に行っていく(いろんな箇所からの出火を想定して)。なかでも、まずは速やかに建物から出ることを重点的に行っていく。また、地域住民の方々にも呼びかけて訓練への参加を募っていくようにする。	今年度中、毎月
3	40	食事に於ける栄養バランスの確認(カロリー計算も含む)がとれていない。	現行の食事内容についての入居者様の感想としては非常に満足頂いていて本当に健康面でも優れたものであるが、調査員の方からご指摘頂いたように、数字の上からも専門家の判断を仰ぎ、栄養面等に於いてもチェックが出来る体制を整える。	栄養士との委託契約を行い、定期的にメニュー・カロリー計算・栄養バランスのチェックと指導を受けて、献立の見直しをしてみる。(1回 / 1ヶ月、程の割合)	1ヶ月後より、適時
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。